

睡眠時無呼吸症候群になると
生活習慣病のリスクが!

脳卒中 3.3倍
糖尿病 1.6倍
高血圧 2.9倍
不整脈 4倍

睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病は密接に関係しています。

無呼吸なおそう.com

トップ	東北	内外	スポーツ	特集	河北DB	ふらっと	動画・シネマ	暮らし	情報誌	就職・進学	宮城の産品 お取り寄せ
-----	----	----	------	----	------	------	--------	-----	-----	-------	----------------

一覧 [防災・減災] いのちと地域を守る | わがこと むすび塾 [3.11大震災] ニュース | 連載 [原発事故・放射線]

特集 ツイート < 22 おすすめ | 17

歩み

2012年、夏／陸前高田・高田病院(上)友のために／彼と最後まで

震災特集(ニュース)
連載
・遺族の思い 石巻・日和幼稚園訴訟17日判決
・復興の陰で
・浜を歩くー津波被災地はいま
・証言／焦点
・歩み 震災からー被災地の四季
・これからー大震災を生きる
・ふんばる 3.11大震災
・再生せんたいーひと模様
・記憶ーあなたを忘れない
・東北再生 あすへの針路

»これまでの連載
大震災から2年半
防潮堤／震災遺構／なぜ進め復興事業
／変わる風景 変わる風景／止まらぬ汚染水流出／原発事故 なお暗い影
フォト特集
身元不明者の似顔絵／県警発表



旧友の石木さん(左)の支援のため弘前市から赴任してきた中村さん



東日本大震災で鉄筋4階の建物が被災し、仮設の施設で診療を続ける岩手県立高田病院(陸前高田市)には震災以降、全国から多くのスタッフが支援に入っている。

ことし3月から内科医として勤務する中村幸夫さん(64)もその一人。「震災復興に貢献したい」と弘前市から引越してきた。今は月曜から金曜の外来を受け持つ。

震災直後に1度、岩手県に入った。昨年3月20日早朝。青森県の自治体による被災地支援活動に参加し、大槌町で訪問診療に携わった。山間地など孤立した世帯を一軒一軒回った。

当時は宿泊場所もなく、長期滞在は無理。後ろ髪を引かれながらも、その日の夜には青森に戻らざるを得なかった。

ある旧友のことが頭をよぎった。「まだ陸前高田にいるはずだよ」。青森高の同級生で、高田病院長の石木幹人さん(65)だった。

被災地は気になったが、弘前での仕事も残っていた。時がすぎ、震災から9カ月後の昨年12月末、高校の同級生からメールが来た。

「石木君が陸前高田で頑張っている。みんなで支援しよう」。中村さんは、6年ほど前の出来事を思い返した。

専門は婦人科。2005年2月から2年間、釜石市の病院の副院長を務めた。当時既に高田病院長だった石木さんとも旧交を温めていた。

津波の犠牲になった石木さんの妻たつ子さん＝当時(57)＝から、よく「高田病院で婦人科をやって」と冗談交じりに言われていた。

石木さんは妻を失いながらも、過酷な現場で頑張っている。「たつ子さんの願いをかなえて、彼を支えてあげられればと思った」。中村さんは振り返る。

ことし1月、高田病院で勤務することを決断。2月29日、陸前高田に単身赴任した。「一緒に頑張ろう」。石木さんと再会し、握手を交わした。

3月1日から仕事を始めた。担当は婦人科ではなく、内科だ。

専門を生かしたいという思いは強いが、慢性疾患を抱える高齢者が多い地域事情を考えれば、内科診療の充実を最優先せざるを得ない。

ただ普段の診療でも、更年期障害や子宮がんなどの悩みを抱える患者が多いことを実感する。「女性特有の悩みは通常の内科では対処しにくい」。中村さんは4月23日、内科に「クィーンズクリニック」を開設。内科診療の枠内で、希望者から婦人科の相談を受ける。1人当たり30分ほど時間を取り、じっくり診療する。専用の医療機器も借り受けた。

当初、受診する患者はほとんどいなかったが、今は1日平均5、6人の予約が入る。「開設を認めた石木に感謝したい」。専門診療ができないことに無力感を抱いた時期もあったが、今は「医療で震災復興を」との気持ちを新たにしている。

中村さんは赴任当初、いつまで高田病院にいたか決めていなかった。石木さんは来年3月で定年となり、病院を去る。「彼と最後までいるよ」。中村さんは笑った。

(山口達也、坂井直人)＝3回続き

[高田病院への支援]震災発生後、記録が残る昨年3月14日からの医師派遣数は延べ約2350人(6月30日現在)。現在、石木院長含め常勤医師は10人。このほか、内科や小児科、外科などに計12人の応援派遣を受けている。

関連特集

- いのちと地域を守る
- わがこと 防災・減災
- むすび塾 防災・減災のページ
- 原発事故・放射線
- 宮城県沖地震から34年
- 宮城県沖地震35年
- 岩手・宮城内陸地震5年

3.11大震災 義援金受け付け

iPadで伝える大震災 知っておきたい大震災の情報を再編集 WEB新書

関連リンク

河北新報 震災アーカイブ 東日本大震災の4年と10年 復興

絆 ボランティア情報 支援、復興に向けた各種団体の活動を報告していきます。

今できることプロジェクト 今年度は、企業と市民がいっしょになって支援活動を行います。(投稿募集中)

ソーシャルメディア 震災関連書籍のご案内

震災17年ブログ 1.17 阪神・淡路大震災 神戸新聞

Do for Japan がんばろう日本 福岡・九州推進協議会